

南部青ルート of 車両更新案について



現行車両の老朽化 ※前回第35回地域公共交通会議資料再掲

メーカー・車種	日野自動車 ポンチョ(ショートタイプ・1枚ドア)
乗車定員	27人(座席15人、立席11人、運転席1人)
購入時期	平成22年7月(令和3年3月末で10年9カ月経過)
総走行距離	約52万km(令和3年3月末時点)
修繕費	約103万4千円(令和2年度中)(青ルート分のみ)

5年間の減価償却期間を終了し、10年以上の車両を使用している。その中で、空調など設備の劣化による乗車環境の悪化に加え、修繕費用が年々増加傾向にあるため、安定した運行の確保のために車両更新の必要性がある。

また、青ルートの利用者が増加傾向にあり、ルート上において町営温水プールが令和4年にオープンし、更なる利用促進事業展開が必要となる中で、**2枚ドアタイプの車両(令和2年度に更新した北部赤ルート車両と同じ車両)**への更新を行う。

➡前回(第35回)地域公共交通会議での協議ののち、事務局で検討したところ、新型コロナウイルス感染症対策として利用者同士の接触回避などにより、安全安心なバスとしての乗降環境の整備を行うため、2枚ドア車両の導入を行う必要性があると判断した。